

富士見台ウルフ少年野球クラブ

感染予防対策ガイドライン

V2.0

令和 2年 6月 2日 : 策定
令和 2年 6月 25日 : 更新

- 緊急事態宣言が解除されたことに伴い、公益財団法人全日本軟式野球連盟、神奈川県少年野球連盟、川崎市少年野球連盟、宮前区少年野球連盟の方針を軸にすることを前提に、感染予防対策に配慮しながら小規模にて活動を再開する。
- 活動内容について不明点がある場合は、役員会を中心に検討しつつ宮前区少年野球連盟にも相談した上で判断する。
- 各大会への参加については、運営側が定める感染予防対策を遵守する。
- 本ガイドラインは、現段階で得られている知見や情報等に基づき作成しているため、今後の知見集積(※1)の内容や地域の感染状況を踏まえて見直すことがある。
- 活動期間中にチーム内で感染者が確認されたとしても、チームでは責任を負わないものとする。
- チーム活動への参加は自己責任において判断すること。

<※1>

- ✓ 公益財団法人全日本軟式野球連盟：JSBB 感染予防対策ガイドライン
- ✓ 公益財団法人日本スポーツ協会：スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン
- ✓ 一般財団法人全日本野球協会 アマチュア野球規則委員会：新型コロナウイルス感染予防のためのガイドライン など

- 以下の感染予防を対策した上で活動を再開する。(チームスタッフ、選手、保護者、OB、関係者、兄妹の全てが対象)

<感染予防対策>

1. 参加者への注意事項

- ① 発熱、咳、倦怠感などの風邪症状および味覚嗅覚を感じない者の参加を認めない。
また、14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も参加を認めない。
- ② 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航
又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めない。
- ③ 感染者が発生した場合には、チーム活動を即中止とする。
※再開は役員会で検討して判断する

2. 参加時の対応

- ① 自宅を出る前の体温を測定してチームの活動に参加すること。
- ② 必ずマスクを着用して活動に参加すること。
- ③ 参加者は除菌グッズ(アルコール消毒液や除菌シートなど)を持参して、練習前に必ず消毒をすること。
- ④ 練習後は手洗い、うがいを実施すること。※必要に応じて練習中も実施する
- ⑤ グラウンド内に唾や痰を吐くことは行わないこと。

- 以下の感染予防を対策した上で活動を再開する。(チームスタッフ、選手、保護者、OB、関係者、兄妹の全てが対象)

<感染予防対策>

3. 練習時の対応

- ① 熱中症予防に配慮し、選手については練習中のみマスクを外すことがある。
- ② 十分な距離の確保するため、練習をしていない時も含めて、周囲の人となるべく間隔を空けるようにする。(目安:2m)
- ③ スタッフ、選手が密集・密接する整列、円陣や声出し、ミーティングは控える。
- ④ 肌が触れ合うような行為(ハイタッチなど)は行わないこと。
- ⑤ 飲食時は、周囲の人となるべく距離をとり、対面を避けて会話をしないこと。
- ⑥ 選手同士で道具の貸し借りはしないこと。
- ⑦ 母(当番以外も含む)や入部していない兄弟が練習や練習試合に参加する場合はマスク着用、除菌グッズを持参することを必須とし、参加時は周囲の人と十分な距離を確保すること。また、選手達とは接触しないように配慮すること。
- ⑧ 母当番で用意する飲み物は水筒への補充用のみとする。
- ⑨ 水筒の飲み残しは各自で必ず持ち帰ること。(利用施設内に捨てないこと)
- ⑩ スタッフ、保護者は自分達で飲み物を用意すること。
- ⑪ チーム所有の物も含めて、タオルの共用はしないこと。
- ⑫ 選手も含めて、各自で出したごみは必ず各々が持ち帰ること。(母当番のごみ袋に捨てないこと)
- ⑬ 各会場でトイレに行った後は必ず母当番で用意している消毒液で除菌してから活動に参加すること。

- 以下の感染予防を対策した上で活動を再開する。(チームスタッフ、選手、保護者、OB、関係者、兄妹の全てが対象)

<感染予防対策>

4. 移動時の対応

- ① 配車に乗る前は各自で持参している除菌グッズで消毒してから乗車すること。
- ② 車内では可能な限り窓を開けて走行し、乗車メンバーは必ずマスクを着用すること
- ③ 車内では極力、会話を控えること。

5. 練習試合時の対応 ※自チーム開催の対策であり、遠征時は相手チームのガイドラインに従う可能性がある

- ① 備え付けのベンチは使用前後に自チームで消毒をすること。
- ② 選手達はベンチに居る時も含めてマスクの着用は無しとする。
- ③ ベンチに入れる大人はベンチスタッフ、母当番(2～3名程度)のみとし必ずマスクを着用する
- ④ 保護者やチーム関係者の観戦、応援場所は外野側のみとし(センター付近はNG)、バックネット付近やファールゾーン付近で観戦することはNGとする。
- ⑤ 相手チームへのお礼品(スポーツ飲料水など)の受け渡しは無しとする。
- ⑥ 試合前の攻守決めは、審判も含めて全員マスク着用とし握手は控える。
- ⑦ 全選手が密集する円陣(試合前後)や声出し、整列を控える。
- ⑧ 試合前の挨拶は主将のみとして(握手は無し)、選手達はの間隔を空けて整列する。
- ⑨ 両チームから球審、塁審への給水は無しとする。(各自で用意し水分補給をしてもらう)
- ⑩ 球審、塁審は可能であればマスク着用が望ましいが、熱中症になることを考えマスク無しもOKとする。
- ⑪ 遠征の練習試合は必要最低限の人数で調整する。(応援のみの参加は当面、控える)